



本堂杏実選手 Photo/Isao HORIKIRI

特集 待ってろ、世界。

3月6日(金)から「所沢市ゆかりのアスリート」3人が出場内定しているミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会が幕を開けます。

今回の特集では、読者の皆さんが冬を熱く過ごすために、イタリアの地で世界に挑むアスリートを紹介します！

☎スポーツ振興課 ☎ 2998-9248

ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック冬季競技大会 所沢市ゆかりのアスリート出場選手



こすだ じゅんた
小須田 潤太選手 (パラスノーボード/下肢障害) KOSUDA JUNTA



所属 ㈱オープンハウス

メッセージ

ずっと結果にこだわってやってきました。4年間スノーボードだけに集中して練習してきたので、表彰台に絡むことができると思っています。ハラハラしながら目が離せないような滑りをしたいです。



競技の見どころ

スノーボードクロスは一斉にスタートして着順を競うシンプルな競技なので、見て楽しいと思います。バンクドスラロームは20回ぐらいターンがあるので、各選手の攻略法に注目してもらえればと思います。

面白さ・難しさ

障害を負ってから、できないことができるようになることが面白いことなんだと気づきました。スノーボードは硬い雪を滑るのと軟らかい雪を滑るのとでも全く技術が異なるなど、無限にできないことがあるので、できるようになる喜びを一生感じられるところが魅力です。

小須田選手が開会式で
日本選手団の旗手を
務めます！



ほんどう あんみ

本堂 杏実選手 (パラアルペンスキー/上肢障害) HONDO AMMI

メッセージ

「心配事の8割は起こらない！人生楽しんだもの勝ち！」という思いで競技に臨んでいます。必死な顔をして全力で滑っているところを見てください！



面白さ・難しさ

時速120kmを超えるスピードを出せることが、楽しくも難しいです。



競技の見どころ

パラアルペンスキーは、立位、座位、視覚障害という3つのカテゴリーに分けられます。視覚障害の選手が滑る時に、先導するガイドスキーヤーの声を聞き取れるよう静まり返る会場の一体感は見どころです。



所属 ㈱コーセー ©JPC